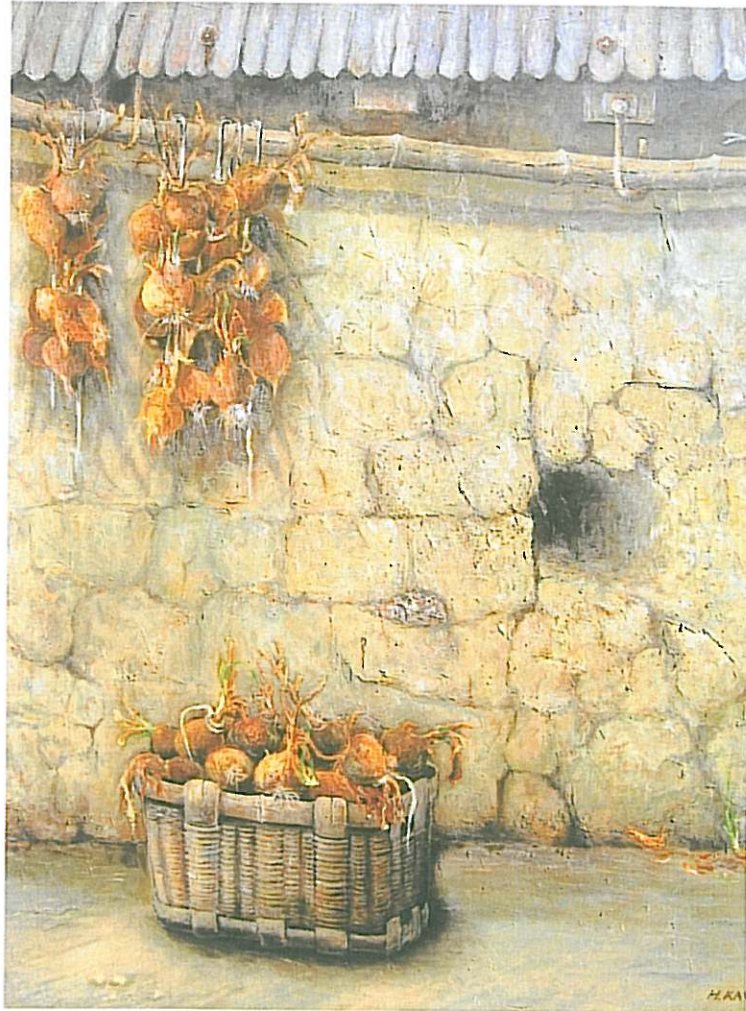




久留米大学商経同窓会報

KURUME UNIVERSITY SYOUKEI ALUMNI BULLETIN No.28



収 穫

創元会会友 川口 治彦 (昭42卒)

創元会に入会して15年。仕事のかたわら絵を描き続けております。
まだまだ未熟で、心新たにスタートラインに立ち、精進しております。

この作品は今ではあまり見かけることが出来ない土塀の軒下の懐かしい古き良き風景です。第70回創元展（東京新国立美術館）出品作品



親睦第一の楽しい同窓会を

久留米大学商経同窓会

会長 大木 武彦 (昭和42年卒)



新年おめでとうございます。会員の皆様におかれましては健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。私は昨年4月の総会におきまして新会長に選任されました大木武彦でございます。どうぞ宜しくお願いいたします。

昨年は3月11日に思いもよらない東日本大震災とそれにとמוなう福島原発事故という大災害が発生し、地域の皆様は今なお塗炭の苦しみの中におられます。被災地の復興と人々の立ち直り、そして1日も早い原発放射能汚染の終息を願ってやみません。その他にも国内の状況は、バブル崩壊後の20年にも及ぶ不況、デフレ、失業者の増大、所得格差の拡大、大震災による経済打撃、歴史的円高と生産拠点の海外流出、TPP参加問題、家業化した世襲政治の貧困、未熟議員の政権運営と、問題は山積のままです。そんな中、女子ワールドカップなどでしこジャパンの優勝、地元球団ソフトバンクホークスの日本シリーズ優勝という明るいニュースもありました。

一方、海外を見ますとギリシャ

に端を発したユーロ危機と通貨不安、世界経済不振、株価低迷、東アジア海域の緊張、アラブ独裁体制の崩壊、タイの大洪水と、世界もまた激しく流動しています。一服の清涼となる話題もありました。ヒマラヤ山麓の国ブータンの国王夫妻が国賓として来日されましたが、周知の通りこのブータンではGNP（国民総生産）ではなく、「GNH」（国民総幸福量）を提唱されており、我々に何か示唆するものがありました。

さて、会長就任以後、各地の支部会、久留米大学中国会成立五周年記念式典、社会経済国際シンポジウム、日本会計研究学会などに参加させて頂きました。支部会では福岡県南支部会を皮切りに東京支部会まで9支部会に出席してまいりました。それぞれの支部会の会員の皆様の大変元気なご様子に、久留米大学ここにありの強い気概を感じ、大変頼もしく思いました。その中では25番目の支部となる待望の関西支部の設立がございました。以前から関西方面に就職された会員の皆様のために、ぜひ支部

の設立を願っておりましたので大変喜んでおります。これからも会員の皆様がそれぞれの地の支部会に積極的に参加され、親睦第一の楽しい同窓会の開催をお願いしたいと思います。支部の活性化は商経同窓会の興隆に繋がり、更に母校久留米大学の発展に寄与するものであり、母校久留米大学が発展することは我々卒業生の誇りであり、また喜びでもあると思います。そしてそれにより、久留米大学への学生の入学の推奨や就職のお世話にも繋がるのではないのでしょうか。

申し遅れましたが、宮原前会長は大学法人の常務理事に御井キャンパスから初めて就任され、法人財務の改善と御井学舎事項を担当されております。なお、前会長には記念品を贈呈し、商経同窓会の顧問もお願いいたしております。

末筆になりましたが、会員皆様の本年ますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げご挨拶といたします。

商学部のこれから・教養観の再認識



商学部長 杉本 英二

現在、商学部拡大教授会では、これまでの方針について活発な議論が行われています。今年度の大きな争点は、教養科目大幅削減問題でした。すなわち、昨年度までは教養科目を39科目（4単位換算）から6科目（24単位）まで選択できたのに、今年は大幅に削減された13科目の中からしか選択できないという、時間割が必修科目と重な

るので受講したくてもできないなど、多数の学生のクレームが教務課に来た問題です。

こうした事態を受けて、7月、9月、10月と3回の拡大教授会の議論により、憂慮すべき事態に立ち至ったことを率直に反省し、主要な教養科目とキャリア系の科目を加えて今年度の約2倍の25科目に改善するという結論により至りました。昨年の議論のポイントがコスト削減を目的とした科目数のスリム化だったのですが、実は文系学部は赤字どころか黒字であってコスト削減要請自体がミスリードだったことが判明しました。「朝令暮改」ではありませんが、学生の利益のために早期に改正することが重要であると考え、来年度から実施します。

商学部は、教養教育について既にまとまった見解を掲げておりました（2005年度の拡大教授会承認）。その一部に「人間には、生きていく上での人生全般の基盤をなす一定の人間観、社会観、文化・歴史観、自然・環境観などが必要である。教養とは、これらについて個人が体得すべき体系的な知恵・理解力である」とあります。すなわち、学生の一生に渡って人生の糧となる何かを得られるように配慮することで、専門だけに捕われない広い視野を持ったリーダーを育てることが可能になるという教養観だったのです。今回の問題で、この教養観に基づいた商学部としての姿勢を確立する必要性を再認識させられたと考えております。

同窓会の楽しみ方



経済学部長 山田 和敏

私は可能な限り各支部の同窓会に出席し、卒業生の皆さんと直に交流しようと願っています。ただ、何の因果か、私はほとんどお酒が飲めません（修行不足かもしれませんが、遺伝的な特性ですので御容赦下さい）。それで、今でも宴会の席などに出ていくのが、苦痛に感じる場合があります。飲めない私が同窓会へ出席して無事に役

目を果たせるだろうかと心配しておりましたが、幸い、今はそれが杞憂であったと感じています。

出席されている卒業の皆さんの多くは私より年齢が上で、年下の方は1～2割程度の方です。酒が回るにつれて、学生時代の昔話に花が咲くわけですが、その多くは私の知らない遠い昔の久大生の青春の一コマであるわけです。60代～70代の方にとって、僅か4年間（場合によっては、5年間以上）の学生生活が一様に素晴らしい青春時代の宝物であったことが、その様子を伺うことによってよく理解できます。皆さんが久留米大学卒業生であることを糧に、有意義な人生を歩んでおられることを感じるとき、教員として無性に嬉しく、心強く感じます。同時に、私

も大いに刺激を受けており、実はこれが私の同窓会の楽しみ方になっています。これらの話のなかには、現在の大学教育に参考になる部分が多々あり、また、個人的にも人生の諸先輩方の生き方を聞く良い機会となっているからです。

さて、私の関心事は、在校生が卒業して30年後、40年後に久大生であったことを誇りに思えるような教育を“今”どのようにやればよいのか、大学も生き残るためにどのような改善策をとるべきなのか、ということです。皆さんのお話を聞くことで、何かヒントを見つけることができるのではと、密かに期待を寄せています。これも、私流の同窓会の楽しみ方のひとつといえるでしょう。

平成23年度代議員会・定期総会を開催

会長挨拶(要旨) 宮原 岩政

私は6年前、会長にお選びいただき、6年間及ばずながら微力を尽くして参りました。しかしながら、意に沿うようなことが出来ずに深く反省しております。この後、役員改選がございますが、私は立候補せず、皆様方と一緒に一会員として更なる同窓会の発展に尽くしたいと思っております。本当に皆様方の長年のご支援ご協力に御礼申し上げます。今後も更に御厚誼をいただきますようお願い申し上げます。

お陰様で、私は4月1日から皆様方のお力添えで、法人の一人として久留米大学の発展に微力を捧げることになりました。これも皆様方の地域に於ける活躍と久留米大学への思いの賜物だと思います。

本日はこの後、役員が改選されます。役員になっていただく方は会長さんを中心として更に充実した同窓会運営をしていただきますようお願いいたします。本日はお忙しい中、山田経済学部長にもご出席いただきました。私も法人の一人として先生方と関係をとって御井学舎発展のために頑張っております。

久留米大学商経同窓会平成23年度代議員会・定期総会は4月23日(土)午前10時30分より学生会館3階ミーティングルームで開催されました。

出席者108名で開会し、溝口議長により、
第1号議案 久留米大学商経同窓会幹事選出細則改正の件

第2号議案 平成22年度事業報告の件
第3号議案 平成22年度収支決算報告並びに監査報告承認の件

第4号議案 平成23年度事業計画案承認の件
第5号議案 平成23年度予算案承認の件
の議案が進められ、いずれも可決承認されました。続いて
第6号議案 役員改選について
の議案が進められ、堺選挙管理委員長より会長、幹事、



監事、副議長については定数立候補となったため、立候補者を当選人と決定すること、副会長については2名定数のところ、3名立候補のため選挙を行うことが説明されました。

立候補者演説の後、投票が行われた結果、副会長には島田征児氏と江頭義人氏が当選決定しました。

大木武彦新会長所信表明

このたび計らずも会長をお引き受けすることになり、身の引き締まる思いです。皆様のお力をお借りして責任を果たして参ります。同窓会は親睦第一で楽しくしなければならぬと考えます。

差し当たり手掛けるのは第1に繁雑になった規約の作り変え、2番目に以前から要望のあった関西支部の立上げ、それから女性会員の組織化、そして財政基盤の強化(終身会費、年会費の払込促進)です。

これからは各地の支部会に参加させていただくこととなりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

宮原岩政前会長退任挨拶

6年間、任期を全うさせていただきました。今後、更に同窓会は私達の目的である大学発展に寄与して頂きたいと思っております。大学を取り巻く厳しい状況の中、法人役員として、皆様と共に同窓会の充実は勿論ですが、母校久留米大学発展のため微力を捧げて参ります。どうぞこれからもご指導ご鞭撻を賜りますとともに、皆様方のご活躍、同窓会の充実を心より祈念いたします。

商経同窓会平成22年度決算・平成23年度予算

借 方				貸 方			
款	項	23年度予算	22年度決算	款	項	23年度予算	22年度決算
事業費		9,966,000	8,553,531	会費収入		12,320,000	15,631,000
	寄 付	0	0		入 会 金	11,420,000	14,200,000
	学納金奨助基金	0	0		会 費	300,000	276,000
	旅 学 費	2,000,000	2,067,390		終 身 会 費	600,000	1,155,000
	奨 学 費	96,000	96,000	利息収入		90,000	120,382
	会 議 費	1,400,000	1,217,721		預 金 利 息	90,000	120,382
	渉 外 費	200,000	46,218	雑費収入		30,000	20,447
	支部対策費	1,400,000	1,514,040		雑 収 入	30,000	20,447
	印 刷 費	500,000	443,895	事業積立金取崩		0	0
	賃 借 料	240,000	243,390		事業積立金戻入	0	0
	会 報 費	2,500,000	2,403,765	小 計		12,440,000	15,771,829
	補 助 費	1,600,000	491,112	前年度繰越金		5,706,921	4,804,162
	会 費	30,000	30,000	合 計		18,146,921	20,575,991
事務費		3,380,000	2,815,539				
	職員人件費	2,200,000	1,965,937				
	社会保険料	270,000	316,547				
	通信運搬費	270,000	244,955				
	消耗品費	100,000	74,678				
	修繕費	50,000	0				
	雑 費	200,000	161,512				
	備品費	250,000	0				
	支払手数料	40,000	51,910				
積立金繰入		2,500,000	3,500,000				
	基本金支出	200,000	200,000				
	事業積立金支出	2,300,000	3,300,000				
	学納金奨助基金支出	0	0				
予備費		2,300,921	0				
小 計		18,146,921	14,869,070				
次年度繰越金		0	5,706,921				
合 計		18,146,921	20,575,991				

平成24年 代議員会・定期総会

お知らせ

○日時 平成24年4月21日(土) 午前11時

○会場 久留米大学御井学舎学生会館3階

久留米大学商経同窓会
総務委員会

〒839-8502 久留米市御井町1635番地
syoukei@ktarn.or.jp
TEL 0942-44-2432 FAX 0942-44-3846

12年ぶりに選挙が行われる。

平成23年度代議員会・定期総会の席上、副会長選出の選挙が行われました。2名の選出に対して3名の立候補があり、幹事、代議員総数103名の投票の結果、江頭義人氏と島田征児氏が当選されました。

投票結果は次の通りです。

江頭義人氏 (14回卒) 94票、島田征児氏 (11回卒) 78票、
中矢巧氏 (16回卒) 32票、白票1票という結果でした。



商経同窓会新役員氏名

(卒業：年・学部・回次) 計 37名

委員会構成

職名	氏名	卒業	支部
顧問	赤司 昌生	昭32 商 4	久留米
顧問	杉村 典正	昭34 商 6	福岡
顧問	宮原 岩政	昭39 商11	佐賀県
会長	大木 武彦	昭42 商14	久留米
副会長	島田 征児	昭39 商11	福岡
副会長	江頭 義人	昭42 商14	久留米
幹事	大石 哲郎	昭33 商 5	佐賀県
幹事	志岐 弘嘉	昭33 商 5	福岡県南 鳥栖・三養基
幹事	藤吉 嘉明	昭33 商 5	福岡県南 鳥栖・三養基
幹事	富安 收	昭36 商 8	久留米
幹事	中橋 肇	昭37 商 9	佐賀県
幹事	上床 一幸	昭39 商11	福岡
幹事	太田 一宏	昭41 商13	北九州
幹事	塚原 勝美	昭41 商13	佐賀県
幹事	溝部 利勝	昭41 商13	福岡
幹事	国武 勝征	昭42 商14	久留米
幹事	高浪 孝一	昭42 商14	久留米
幹事	原口 彰	昭42 商14	久留米
幹事	柳原 周治	昭44 商16	関門
幹事	中村 輝幸	昭44 商16	久留米
幹事	橋本 良一	昭44 商16	関門
幹事	武宮 雅治	昭47 商19	久留米
幹事	朝久 岩生	昭48 商20	福岡
幹事	平川 猛展	昭48 商20	福岡
幹事	木下 一弥	昭51 商23	久留米
幹事	姫野 昭彦	昭51 商23	筑邦銀行
幹事	矢野 則行	昭53 商25	日田
幹事	大津 秀明	昭55 商27	久留米市役所
幹事	原 万一郎	昭60 商32	福岡
幹事	甲斐 聡	平12 経 3	学内
幹事	久保田一喜	平12 経 3	久留米
幹事	白江 淳	平14 経 5	久留米
幹事	白坂 良太	平14 経 5	学内
監事	江頭 照郷	昭33 商 5	久留米
監事	吉村 暢充	昭58 商30	久留米
議長	荒川 高良	昭34 商 6	久留米
副議長	池田 喜次	昭36 商 8	久留米

総務委員会	委員長	武宮 雅治
	副委員長	矢野 則行
	委員	塚原 勝美
		橋本 良一 久保田一喜
財務委員会	委員長	姫野 昭彦
	副委員長	国武 勝征
	委員	志岐 弘嘉
		溝部 利勝 白江 淳
組織委員会	委員長	大石 哲郎
	副委員長	原口 彰
	委員	藤吉 嘉明
		大津 秀明 原 万一郎
広報委員会	委員長	上床 一幸
	副委員長	中村 輝幸
	委員	富安 收
		朝久 岩生
規則委員会	委員長	高浪 孝一
	副委員長	白坂 良太
	委員	太田 一宏
		木下 一弥
名簿委員会	委員長	中橋 肇
	副委員長	平川 猛展
	委員	柳原 周治
		甲斐 聡
役員等推薦委員会	委員長	島田 征児
	副委員長	中橋 肇
	委員	富安 收
		大石 哲郎 高浪 孝一
援助基金委員会	委員長	江頭 義人
	副委員長	武宮 雅治
	委員	姫野 昭彦
		上床 一幸 平川 猛展

第一線インタビュー (40)

銘茶専門店 こだわりの一服をお届けします



取締役社長 森永房芳 氏(昭和46年商学部卒)



森永社長

長崎街道・六宿の一つ、黒崎宿街道沿いに位置する当店は、宿場のお茶屋として地域の皆様に愛されてきました。(上床)

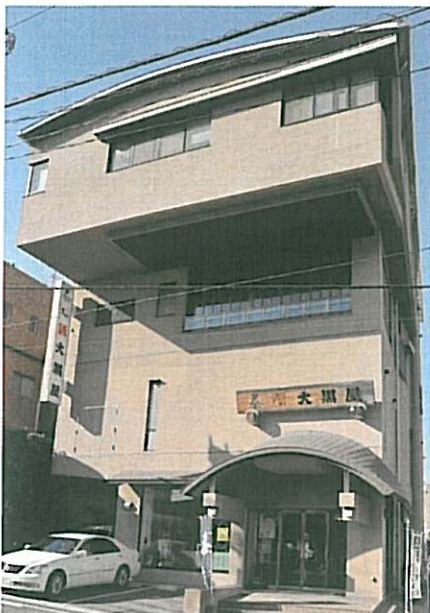
創業65年の老舗

昭和22年12月に北九州八幡の地に父親が地域に親しまれるお茶屋、大黒屋茶舗として開業しました。卒業後、私は東京の大手建設業に従事していましたが、5年過ぎたところで店を手伝えとのことで帰って参りました。

それから父・兄・私と三人四脚で店を盛り立て黒崎店(1号店)に続き、2号店メイト店の立上げに携わりまして店長として就任しました。その後、3号店若松店・4号店八幡東店と出店し、今年の正月で早65周年を迎えることができました。

大黒屋の特徴

単にお茶屋としての仕入れと販売だけでなく、早く(昭和26年)から製茶機械を購入して、製造販売業に転化したことです。つまり、製茶前のリーフ(葉)の状態です。契約茶農家から仕入



本店 北九州市八幡西区黒崎5-5-22
TEL(093)645-5588 FAX(093)632-1260

れて製造に結びつけたわけです。

また、昭和48年に八女茶のお茶流通センターの入札権を獲得したことにより流通コストを削減でき、本来なら一般流通として産地問屋から消費地問屋、小売店、消費者に渡るところを、大黒屋が直接製造して消費者へと届く仕組みにしたわけです。

ここに大黒屋としての「いつもおいしいお茶を適正な価格でお届けします」というシステムが確立されたわけです。



葉っぱの由来

お茶の葉に八つの誓いを込めています。

- その1、お客様第一主義、満足のいくサービスに努めます。
- その2、商品の品質には十分に気を使っています。
- その3、美味しいお茶の追求に努めています。
- その4、産地農家と一緒に茶作りを進め、自然に採れた茶葉を原料にしています。
- その5、健康を考えたお茶作りをしています。
- その6、福岡県八女流通センターからの直接仕入れ(茶市場入札)をしています。
- その7、生産地と変わらぬ価格と品質を提供しています。
- その8、自社製造により、試飲検査後に出荷しています。

社長に就任して

3代目として社長に就任(平成23年12月)したばかりですが、大黒屋の歴史や父、兄のこれまでに培った業績を汚さぬよう且つ、積極的に業容発展に取り組んでまいります。

例えば八女に限らず鹿児島島の知覧などにも仕入先を拡大したり、荒茶のオリジナル加工も検討していきます。

今風にITを活用したネット販売、若者や子供たちに日本古来からのお茶文化を理解してもらえるような飲みやすいお茶、Tバックやインスタント茶等の開発に力を注いでいきたいと思っています。

資格取得

茶専門経営士
日本茶アドバイザー

会社理念

自然を愛し、その恵みを生かして食文化の向上を追及し、人の平和と幸福を広める為、社業を遂行し社会に貢献する。

社は

自然が本来持っている良さを最大限に生かして、お客様の健康と幸福を誠実に貢献する。

業務内容

全国日本茶・ウーロン茶・コーヒー・健康茶・健康食品・茶道具・たばこ・結納品・しいたけ

資本金 1000万円

従業員 32名



森永氏と上床

第一線インタビュー (41)

久留米市民の健やかで安全な暮らしを守る 中心的な役割を担って…

久留米市保健所
総務医薬課 総務企画チーム

中里正志 氏(平成11年経済学部卒)



中里正志 氏

久留米市職員として11年目を迎え、現在は保健所全体を統括する総務部門に従事し、特に予算関係を中心とした業務に取り組み活躍されております。(中村)

大学時代

高校では部活に明けくれる毎日を過ごしていましたが、大学ではサークル活動には所属せず、スーパーや交通量の調査並びに料理店の厨房等々でアルバイトをしていました。おかげで世間の実態把握という点では勉強になりました。

就職

出身は長崎県の雲仙市ですが、大学時代から久留米に住んで愛着を持ったということと、当時の恩師から20万から30万人の人口規模の自治体が一番柔軟に行政の運営が出来るという助言を受け、久留米市役所への就職を希望しました。よって、当時の私は、民間企業への就職活動は一切行うことなく公務員一本に的を絞り、結果としてその思いが実現しました。

市職員としての経歴

平成12年4月に採用され農政部農林課を5年、総務部人事厚生課職員共済会を2年、厚生労働省健康局生活習慣病対策室を2年、そして平成21年から現在の健康福祉部保健所総務医薬課に従事し、平成20年4月から設置された保健所全体の総務部門業務を担当し、保健所健康推進課の担当として予算関係や現課と他の部署との調整業務等を行っています。

印象に残る仕事

農林課時代、「ふるさとくめ農業まつり」に携わった仕事です。このイベントはJAや各専門農協、農業委員会、商工会議所、市などで構成する実行委員会が主催して、毎年11月に開催し、九州有数の農業都市である久留米市の姿をアピールするものです。農業をテーマとした筑後地区でも有数のイベント

ですが、私はこの運営に関わり、実は大変でしたが、無事に開催できた時の達成感は格別で印象に残る仕事でした。

業務体験

厚生労働省へ派遣された際は、生活習慣病対策分野の政策に関わる研究費の申請や交付を担当していました。当初は、国と市における仕事の質やスピードの違いに戸惑いましたが、予算要求における財務省との折衝など、普段では体験できないことをさせていただき、今でも仕事を上でのベースとなっています。又、国で仕事をしてみて地方自治体は住民の方との距離が近く身近な行政サービスを提供するために存在するのだと改めて感じました。



中里氏と中村



久留米市城南町15-5 TEL(0942)30-9724 FAX(0942)30-9833

久留米市保健所について

中核市には、地域保健法の規定により保健所の設置が義務付けられています。平成20年4月1日の中核市移行に伴い「久留米市保健所」を設置しました。市保健所は、市民の皆さんの健やかで安全な暮らしを守る中心的な役割を担います。市の健康危機管理の拠点として、食中毒や感染症などの発生予防や発生時のまん延防止など、迅速かつ的確な対応を行います。また、県保健所と市でそれぞれ行っていた保健事業を一元的に実施するとともに、保健分野全般の総合的な企画や調整を行っています。ライフステージに応じたよりきめ細やかな保健サービスを提供するとともに、市民の皆さんとの協働による健康づくりに積極的に取り組んでいます。市保健所には、機能ごとに久留米市保健所(事務診療部門)、動物管理センター(動物保護管理部門)、衛生検査センター(試験検査部門)の3つの施設を設置しています。

久留米大学中国会成立五周年記念式典に参加

平成23年8月19日～22日の日程で、大木会長と江頭副会長の2名は中国を訪問し、標記の記念式典と久留米大学中国会北京及び上海支部会に出席してまいりました。現在、久留米大学には中国からの留学生が250名ほど在籍していますが、久留米大学中国会の発足には以下の経緯があります。平成17年4月、久留米大学北京教育交流センターが設立され、その主な業務は学術教育交流の推進と久留米大学への留学生の誘致及びその指導です。学術交流では中国社会科学院と共同でシンポジウムやセミナーを開催しています。そのような中、平成18年11月、中国に帰国した久留米大学元留学生を中心に、久留米大学関係者による中国におけるネットワークを構築し、親睦を図るとともに、日中の友好交流に資する組織をとということで「久留米大学中国会」が発足したものです。現在は帰国留学生を中心に、在学生の保護者も加わり300名ほどの会員数だそうです。

今回は久留米大学中国会五周年記念にあたり、本学より神代理事長、薬師寺学長はじめ文系各学部の教授、医学部教授その他関係者が参加され、記念式典、セミナー、中国会に出席して親睦交流を深めてまいりました。なおこの度、薬師寺学長が久留米大学中国会の名誉会長に就任されました。(大木)



10月14日、久留米大学御井キャンパス内において 第16回社会経済国際シンポジウムが開催される

2年に一度、久留米大学と中国の持回りで開催される社会経済国際シンポジウムが御井キャンパス内で開催されました。

持続可能な社会の形成と国際協力のテーマで午前中は第1部として3つの分科会にて①地球環境保全と国際協力②少子高齢化社会への対応と国際協力③地域振興と国際協力と夫々有意義な講演並びに質疑応答が行われました。

午後からは第2部として基調講演が行われました。

開会セレモニーに山田経済学部長の挨拶、大木商経同窓会長の挨拶や後援者の紹介があり、久留米大学経済社会研究所長の藤田八暉氏の地球温暖化対策の推進のための方策と題して「コベネフィット型温暖化対策」は印象に残るものがありました。

(コベネフィット(相乗利益)とは途上国の開発に対するニーズと地球温暖化防止を行うニーズとの両方を意識し、単一の活動から異なる2つの便益を同時に引き出すことを意味する。)



挨拶される山田経済学部長



平成23年度事業計画



総務委員会……………委員長 武 宮 雅 治

- (1) 同窓子女の母校受験を引き続き支援するための奨学金制度の浸透をはかります。
- (2) 家計急変の4年生後期分学納金困難者(学部長推薦)に対し、同窓会学納金援助基金制度の浸透をはかります。
- (3) 学生のクラブ活動、ボランティア活動、国際交流に対する支援を行います。
- (4) 同窓会館を利用して、同窓生の交流をはかります。

財務委員会……………委員長 姫 野 昭 彦

本年度においても、引き続き各委員の協力を得て会費の徴収増加に努め、特に終身会費(現在加入者1,552名)については、会長をリーダーとして強力に推進し、同窓会活動の促進を図れるようにしていきたいと思ひます。

組織委員会……………委員長 大 石 哲 郎

- (1) 新支部構築としては現在、大分県北支部があるが休眠状態であり、大分県支部として新たに構築できるよう進めたい。
- (2) 支部活動に於いて、名簿の必要性を強く求められているので、名簿委員の方を中心に、どのようにしたら良いか結論を出したい。
- (3) 休眠支部に対しては、継続できるのか、又、どの様な扱いにするか、今期中に結論を出したい。

広報委員会 (HP委員会) …委員長 上 床 一 幸

- (1) OBの近況報告を現行の2名から4名(投稿次第ではそれ以上)に増やす。
- (2) 現役学生のクラブやサークル活動の様子を新しく掲載していきたい。
- (3) 掲示板の利用を特定の支部や人物に限らずに、より多くの支部やOB同士の連絡網として活用していただくように訴求していきたい。

規則委員会……………委員長 高 浪 孝 一

同窓会活動において、現状にそぐわない規約等について引き続き検討を行い、実状に即した運用しやすいものにしていきたいと思ひます。

なお、規約等について、お気づきの点があれば事務局にお申し出ください。必要に応じ、委員会で検討を進めていきたいと思ひます。

名簿委員会……………委員長 中 橋 肇

同窓会名簿は個人情報保護法により、取り止めております。但し、名簿の管理・閲覧は同窓会事務局で行っておりますので、お問合せください。

また、皆様の住所等の変更がございましたら、事務局まで必ずお知らせください。最新のデータ収集を行い、会員皆様のお役に立つようにしております。

規則類の改正について

現在の商経同窓会の規則類及びその条文の中で、実情に合わなくなった部分や改善すべき点、また改正の要望があった点などを検討すべく、平成23年5月に規則委員会メンバーを中心に10名からなる規則改正プロジェクトチームが発足しました。

同窓会の目的である、会員相互の親睦、連携及び福利厚生を図り、併せて久留米大学の発展に寄与するという基本理念に立って、現在、規則委員会で改正点の草案作りを進めています。

規則委員会委員長 高浪 孝一

2011年度 移動幹事会

8月27・28日の両日、奥武雄温泉「四季のそら」(佐賀県)にて、移動幹事会が行われました。

幹事会では本年度就任された大木会長から久留米大学中国会上海支部の立ち上げがなされたことについて報告、同窓会では関西支部などの今後の立ち上げ予定が報告されました。

議事では代議員の中から3名の幹事就任による新代議員名の紹介、その他各委員会からは今後の活動予定などが伝達され意見交換が行われました。
(朝久)



お知らせ

久留米大学商経同窓会
鳥栖・三養基支部総会

- 1. 日 時 平成24年2月12日(土)
午前11時30分
- 2. 場 所 鳥栖中央公民館
- 3. 会 費 5,000円
- 3. 連絡先 支部長 宇佐 良則
TEL 0942-82-4254



支部だより



久留米支部会を開催

久留米支部会

久留米支部長 江頭 義人 (昭42年卒)

平成23年2月19日、ホテルニュープラザにて久留米支部会を開催しましたところ、150余名の参加を得、盛大かつ厳粛な中で支部会が開催されました。来賓として、薬師寺学長をはじめ、文系3学部長にもご多忙の中を出席いただきました。学長からは本学の現状についてお話をいただき、学部長・前学部長からはそれぞれの学部の現状などについて意義あるお話を聞くことができました。その後、支部の会務報告と決算報告があり拍手多数で承認されました。引き続き、任期満了に伴う役員交代も執行部の原案通り承認され新支部長には私(江頭義人)が、副支部長には経験豊富な国武勝征さんと坂本昭夫さんが再任されました。他の役員29名も同じく承認され、新体制でのスタートとなりました。

支部長の私としましては、前任者

が築いてこられた方向性を堅持し、それぞれの役員や会員の皆さんの意見を集約しながら同窓会発展のため、更には本学部発展のために頑張りたいと思っております。さて、時は駆け足で過ぎ、待望の第二部の懇親会は、我が後輩のチアリーダークラブの皆さんで、若さあふれる演技が掛け声とともに始まり、先輩諸氏の目を釘付けにし、後輩のクラブ活動の



一端を垣間見ることができました。演技終了後は「乾杯」の発声と共に時を待たずして、あの頃の学生時代へと逆戻り「おおー、久しぶり!」「元気やったの!」等々の声が飛び交っていました。私的には声をかけたかった同級生や先輩諸氏の姿を見失ったりして、失礼はあったものの支部役員として目的を達成出来たと感じる時でした。和気あいあいのうちに時は過ぎ、恒例である二年に一度の同窓会を念頭に「二年後にまた会いましょう!」を合言葉に散会となりました。語り尽くせなかった分は久留米のネオン街の経済に寄与されたことだろう。



平成23年度北九州支部総会

北九州支部会

北九州支部長 伊藤 豊仁 (昭45年卒)

1月22日午後6時より、「リーガロイヤルホテル小倉」において再発足支部総会後初めての総会を開催しました。本総会において支部会則及

び役員全員が正式に承認されました。本部からは副会長、組織委員そして福岡支部長、関門支部事務局長も来賓としてお出でいただき、総数38



北九州支部会 平成23年1月22日 於 リーガロイヤルホテル小倉

名の会になりました。特に今回、1回生の柏木先輩(元、行橋市長)が出席され、ご挨拶と乾杯、その豊饒(かくしゃく)とした姿に、参会者一同元気をもらい、会が盛り上がりました。そして各テーブル別に全員自己紹介、特に今回から北九州市近郊市部からの参加もあり旧交を温めました。バックグラウンドの音楽は地元ピアニストの生演奏。最後に元応援部・森永氏(18回)のエールと掛け声とともに校歌斉唱。あまりの盛り上がり時間に時間不足は否めず、今後の課題は会員自身が信義と友情に基づいた同窓会人脈をどう構築し持続するかにかかっているのではと思わせる熱い幕切れでした。

お知らせ

久留米大学商経同窓会 北九州支部総会

日時 平成24年1月21日(土)

午後6時より

場所 リーガロイヤルホテル小倉

佐賀県支部総会

佐賀県支部会

佐賀県支部長 中橋 肇 (昭37年卒)

平成23年2月12日(土)久留米大学同窓会・佐賀県支部総会を、商経同窓会主催において佐賀市の「グランデはがくれ」において開催した。当日は大雪の中での総会となり参加者は38名であった。来賓には薬師寺学長・由井前商学部部長・江藤前経済学部部長、宮原前商経同窓会

長・同島田前組織委員長及び文学部・法学部様各位のご参加があった。総会では、商学部60周年記念事業について、今後の総会参加者増について、同窓会に関心を持っていただきたい事、特に若い方の参加、また、文学部・法学部の方への参加を呼び掛ける事、終身会員の増についての

協力を強くお願いした。講演は薩摩琵琶の演奏を行った。北原香菜子様
の奏でる薩摩琵琶の音色に一同静かに聞き入った。

懇親会では、薬師寺学長、由井前商学部部長・江藤前経済学部部長及び宮原前同窓会会長等と同窓生が酒を酌み交わし、親しく語り合い親睦を深めた有意義な懇親会であった。最後に全員で校歌を斉唱し1年後の再会を約束して終了した。

お知らせ

久留米大学商経同窓会 佐賀県支部総会

- 1. 期 日 平成24年3月3日(土)
- 2. 時 間 受付 午前10時00分
開始 午前10時30分
- 3. 内 容 総会・講話・懇親会
- 4. 場 所 佐賀「グランデはがくれ」
(電話 0952-25-2212)
(JR佐賀駅南口より徒歩5分)
- 5. 会 費 6,000円
- 6. 支部長 中橋 肇
- 7. 連絡先 中橋 肇(昭37年9回卒)
電話 0952-22-5425
携帯 090-2853-6122



佐賀県支部会 平成23年2月12日 於 グランデはがくれ

支部会開催について

都城支部会

都城支部長 佐藤 勇 (昭55年卒)

第36回、都城支部総会は、平成23年1月22日(土)に市内中央通りに面したメインホテルに於いて開催致しました。

大学より由井前商学部部長、江藤前経済学部部長、本部より当時の宮原同窓会長と島田組織委員長が、それぞれご多忙の中を遠路お越し頂いた他、宮崎支部より二宮支部長と丸田幹事。鹿児島支部より田中事務局長の出席を頂きました。由井・江藤両前学部長ならびに宮原前同窓会長より大学の状況や同窓会活動のお話を賜りました。参加者は総勢16名と少し寂しいものがありました。久しぶりに参加された同窓生の元気な姿もあり、開宴後はお互いの近況報告や学生時代の思い出話に花が咲き、和気あいあいの雰囲気の中で時間が経過し、最後に全員で校歌斉唱をした後、閉会となりました。

また、支部会開催後の26日、霧

島連山のひとつである新燃岳が50数年ぶりに大噴火し、降灰による被害状況が連日ニュース等で放送される中、宮原前同窓会長様よりお見舞いの電話をいただきました。この場をお借りし、あわせてお礼申し上げます。

お知らせ

久留米大学商経同窓会 都城支部総会

- 1. 期 日 平成24年1月28日(土)
- 2. 時 間 18時30分より
- 3. 場 所 霧の蔵ブルワリー
都城市志比田町5480番地
(電話 0986-21-8111)
- 4. 会 費 4,500円
- 5. 問合せ 支部長 佐藤 勇
(昭55年卒)
電話 0986-26-0058
携帯 090-7537-2019



都城支部会 平成23年1月22日 於 メインホテル

総勢30名での総会となりました 長崎支部会

長崎支部 三ツ石 広明 (昭61年卒)



長崎支部会 平成23年10月15日 於 ホテルニュー長崎

平成23年10月15日(土)ホテルニュー長崎において長崎支部総会を開催しました。大学から商学部長と経済学部長。同窓会から会長と組織委員長をお迎えして、総勢30名の参加となりました。

今回の参加者の中で、遠くは奈良県や五島、佐世保からもお集まり頂き会員相互の結びつきの強さを改めて認識することが出来ました。また、初参加者が6名おられましたが、そのうち5名の方が横の繋がりによる掛け声に賛同されての出席であった事は、大変喜ばしく今後の広がりを予感させてくれます。その後の懇親会では、年代を超えお互いに親睦を深め、和気あいあいとした楽しい時間を過ごすことが出来ました。次回も多くの方のご参加をお待ちしております。

地元久留米の職域支部として

久留米市役所支部会

久留米市役所支部長 大津 秀明 (昭55年卒)

同窓会の皆様、新年明けましておめでとうございます。

同支部では、毎年筑邦銀行支部との交流会や支部総会などを行い、支部間交流や会員相互の情報交換に努めています。

今回は、地元久留米の職域支部として一つのイベントをご紹介します。昨年9月17日(土)に「JR久留米大学前駅・駅前フェスタ2011」(田中多門会長・JR久留米大学前駅運営協力会)が開催されました。14回目

を迎える同フェスタも、平成12年3月に大学前駅が開業して以来、地域の地域や高校・短大・本大学などが連携して「おらが駅」をアピールするために行っているものです。

毎回市長に出席して頂いていますが、今回も会場の皆さんへ激励の言葉を頂きました。年々駅利用者も増えています、今後とも地域住民の生活拠点として、あるいは久大本線沿線の地域発展につながっていけば幸いです。



榎原久留米市長と田中多門氏

本年も素晴らしい同窓会になった

日田支部会

日田支部長 田中 進 (昭45年卒)



日田支部会 平成23年11月5日 於 亀山亭ホテル

平成23年11月5日18時より亀山亭ホテルに於いて、同窓会日田支部会を久留米大学より薬師寺学長、宮原常務理事、山田経済学部長、西土元商学部長、同窓会より大木会長、大石組織委員長、平川福岡支部長、医学部同窓会より済生会日田病院院長で医学部同窓会日田支部長西田先生、久留米大学病院副院長兼高度救命救急センター長坂本先生、済生会日田病院副院長西村先生、石井産婦人科院長石井先生、みよしくリニック院長三好先生、商経同窓会福岡支

部朝久さん、文学部同窓会より矢島会長、法学部同窓会より佐々木事務局幹事の御出席を頂いて、日田より会員が出席の下、39名で開催致しました。

薬師寺学長、宮原常務理事、山田経済学部長、西土元商学部長より久留米大学の現況及び今後の方針についてお話しがあり、大木会長より同

窓会活動の現況についてお話しがありました。医学部同窓会日田支部長で済生会日田病院院長西田先生の挨拶、大分県医師会理事で石井産婦人科院長石井先生の挨拶、商経同窓会、医学部、法学部、文学部同窓会役員

懇親会へと移り、本年も和気藹藹の本当に素晴らしい懇親会が行われました。

その後、校歌斉唱、商学部18回生田原さんの万歳三唱、商学部25回生魚返さんの打込みで会は楽しい雰囲気にて無事終了する事ができました。来年も全学部、卒業生の1人でも多くの参加をお願いします。

災難に負けず団結を誓う

宮崎支部会

宮崎支部 丸田 昇次 (昭61年卒)

平成23年7月9日(土曜日)午後6時半より居酒屋「はなの華」にて第10回宮崎支部同窓会が行われました。

大学から西土純一先生、山田和敏先生、大木武彦会長、大石哲郎組織委員長をお迎えして合計25名で盛大に行われました。約2時間の楽しい雰囲気の中無事終了いたしました。

昨年は4月に発生した口蹄疫の影響で同窓会は中止になりました。今年も1月に新燃岳が噴火しプロ野球やJリーグのキャンプと同時期に重なってしまい、それら球団のキャンプが中止となってしまいました。

その後新燃岳の噴火も小康状態になりイベント等も行われるようになりました。なにかと災難続きの宮崎ではありますが今年は無事同窓会を開催することができました。

今年は1名若い同窓生を支部に迎えることができました。

これからも若い同窓生を増やして

いきたいと思ひ商学部以外の卒業生への案内方法を検討したいと思ひます。

また、懇親会中心の集まりではなく、各方面の第一線で活躍されている卒業生もいらっしゃるので講演会や勉強会の機会を設けビジネスチャ

ンスが広がればいいと思ひます。

そして、昨年に続き災難が多い年となりそうなのでこれからも卒業生の団結と助け合い精神の強化を図りたいと思ひます。



宮崎支部会 平成23年7月9日 於 はなの華

会の結集を

嘉飯支部会

嘉飯支部長 永光 皓司 (昭38年卒)



嘉飯支部会 平成23年10月23日 於 パドドゥ・ル・コトブキ

久留米大学商経同窓会 第11回嘉飯支部総会が平成23年10月23日、飯塚市の「パドドゥ・ル・コトブキ」にて、学校より山田経済学部長。本部より大木同窓会会長、島田副会長、大石組織委員長、以上4名の皆様にご出席を頂いて開催されました。当支部も今年で発足から11年目になりましたが、今回の総会も例年に比して出席者数が少なく危惧する面もありました。特に、若い支部会員の掘り起こしを如何にして構築するのか・・・? 常連の参加者から熱心な意見が交わされていたこと。又、回答なしの人が徐々に返事をくれたことが微かな光です。今後は同窓生への一層の呼びかけ等を行い、出席者増を図りたいと考えます。

第8回福岡県南支部総会開催について

福岡県南支部会

福岡県南支部長 志岐 弘嘉 (昭33年卒)

平成23年5月21日、柳川市「しげちゃん」において、23名の参加者で総会を開催しました。

来賓の山田経済学部長より経済学部の実践重視の教育科目を増やし、現在、研究体制も整いつつあるとのお話を頂き、大木同窓会会長からは、去る4月24日、同窓会定期総会において代議員の承認を受けて新会長に就任されたと報告がありました。又、今年度に関西支部が新設されるとの事でした。原口組織副委員長からは同窓会への出席者が少なく、特に女性の参加者が少ないため、呼

びかけ組織作りの話がありました。

この後、浦監査委員の力強い乾杯の音頭で懇親会となりました。山田経済学部長、大木同窓会会長、原口組織副委員長の来賓の方は、今回初めての同窓生との懇親会でありまし

たが、話が盛り上がり、酒を酌みかわし、親しく語り合い親睦を深め、時間のたつのも忘れる有意義な懇親会でした。

最後は校歌を斉唱して、一年後の再会を約束して散会しました。



福岡県南支部会 平成23年5月21日 於 しげちゃん

久留米大学商経同窓会
福岡県南支部総会

お知らせ

日時 平成24年5月12日(土)
午後3時30分
場所 しげちゃん

関西支部設立、開催！

関西支部会

関西支部長 市来 輝夫 (昭46年卒)

平成23年10月30日(日)ホテルヴィアール大阪にて第一回久留米大学商経同窓会・関西支部が順調に立ち上がりました。

卒業生19名が参集し、同窓会本部から大木武彦会長、大石哲郎組織委員長、原口彰組織副委員長の3名、大学から塚崎公義就職部長、山田和

敏経済学部長の2名の重鎮にお越しいただき、法被や、校歌のCDまで用意してもらい、暖かい支援の元で開催されました。

発起人である嘉村数広氏(S46卒)が開催に至る経緯を説明し、市来輝夫(S46卒)初代支部長の挨拶が終わり、大木会長から同窓会、久留

米大学の現状説明と関西支部設立の祝辞、乾杯の音頭がありました。食事を挟みながら、来賓の方々の祝辞を賜り、アメフトやチアリーダーの活躍など大学の現況を語っていただき、懐かしい青春の日々に思いを馳せました。その後、雨河正樹氏(S40卒)の司会進行で参加者全員の自己紹介が始まりました。自己紹介後は皆、和気あいあい、思い出話や現況の話に花が咲き、親睦を深めました。

最後に校歌を斉唱し、一年後の再会を約束して終了しました。

関西支部設立に協力していただいた皆さんに心から感謝の意を表したいと思います。



関西支部会 平成23年10月30日 於 ホテルヴィアール大阪

お知らせ

久留米大学商経同窓会
関西支部総会

日時 平成24年10月28日(日)
正午より
場所 ホテルヴィアール大阪

筑邦銀行支部、親睦更に深まる！

筑邦銀行支部会

筑邦銀行支部長 坂本 真司 (昭58年卒)

私たち筑邦銀行支部は、母校の地元久留米に事務局を置く職域支部であります。支部同窓会を毎年開催しております。平成23年度も7月15日にハイネスホテル久留米におきまして、28名の参加者と薬師寺学長様、大木同窓会長様、大石組織委員長様のご出席のもと盛大に開催致しました。

まず、大木同窓会長様にご挨拶をいただいたあと、薬師寺学長様に久留米大学の近況報告をいただきました。続いて、久留米市役所支部からご参加いただいた田中多門様(昭47年卒)からご挨拶をいただき、会計報告のあと、大木同窓会長様の力強い乾杯の発声で懇親会の幕が開きました。懇親会では新入会員1名が自己紹介するなど、職域支部ならではの日頃の話題で多いに盛り上が

りました。フィナーレは、校歌の横断幕を前に出席者全員が肩を組んで校歌を斉唱し、親睦が更に深まりつ

つ、最後は大石組織委員長様の万歳三唱で会を締めいただきました。



筑邦銀行支部会 平成23年7月15日 於 ハイネスホテル久留米

第10回久留米大学商経同窓会 東京支部総会報告

東京支部会

東京支部 小島 成郎 (昭45年卒)

第10回東京支部総会は、東日本大震災の影響を受けた電力事情を考慮し、平成23年11月12日(土)「が

んこ銀座店」にて4名の初参加者を含めた40名が集まったの開催となりました。

議長(川村支部長)による総会の議事後、御来賓としてお迎えした西土元商学部長から久留米大の近況、本部の大木同窓会長から同窓会の現況の御挨拶をいただいた後、恒例となった1回生青沼先輩による乾杯の音頭で飲み放題・寿司御膳の食事が始まりました。

懇親会では本部の大石組織部長から関西支部の進捗状況の御紹介、久留米支部から参加の原口様の御挨拶、久留米市役所支部の松藤東京事務所長から市役所からの御案内の後、初参加者の自己紹介・ゴルフ同好会の報告と続きます。

次に参加者が楽しみにしている抽選会になると、会はさらに盛り上がり、その後これも恒例の応援演舞・校歌斉唱へと流れるとあっという間の2時間半が過ぎ、高木顧問の閉会の挨拶の後に次回の再会を約しながら和やかなうちに散会となりました。



東京支部会 平成23年11月12日 於 がんこ銀座店

第51回久留米OB会が開催されました。

10月13日(木)福岡国際CCにおいて、第51回ゴルフコンペが行われました。当日は好天に恵まれ葉師寺学長をはじめ6組21名の参加でした。

優勝は松尾徹氏(28回卒)でした。おめでとうございます。



第7～8回東京支部ゴルフ同好会コンペ

ゴルフ同好会会長 梅野光信 (商10回卒)

東京支部では第7回大会を平成23年3月に予定していたが、同3月11日の東日本大震災の影響で、同6月3日(金)に延期して川越グリーンクロス(埼玉県川越市)にて開催し、本村正勝氏(商2回卒)が優勝されました。第8回大会は同じ川越グリーンクロスで平成23年11月15日(火)に3組12名で開催しました。当日は関東平野に太陽が柔らかく降り注ぐ秋晴れの好天に恵まれ、優勝者は第6回大会につづき前田勝仁氏(商19回卒)でした。

次回は平成24年4月19日(木)の開催を予定しており、東京支部会員はもとより他支部および他学部所属の方々のご参加をお待ちしております。



久留米・福岡県南支部合同親睦ゴルフ会

平成23年11月16日(水) 秋季久留米・県南支部合同親睦ゴルフ会を八女上陽ゴルフ倶楽部で開催しました。

参加者14名で八女上陽のシニア・レディースコンペに合流して支部優勝者は馬場敏夫さん(12回生)でした。馬場さんおめでとうございます。ベスグロは85で福山泰幸さん(13回生)で、また1回生の石橋利春さんを筆頭に皆さんが晴天の中で同窓生仲間とスコア?にこだわりながらも健康に感謝した楽しい一日を過ごせました。ありがたいことです。

昨年までは年1回だったゴルフ会を今年から2回にしての秋季ゴルフ会でしたが、今後も春季と秋季で久留米と県南支部合同で開催することを確認して、来年の4月上旬に再会を期して、和気藹々のうちに散会しました。



久留米支部ボウリング愛好会

平成23年11月26日(土)ユーズボウル久留米に於いて第3回大会が開催されました。参加者一同、和気藹藹の中で楽しい一時を過ごし、親睦を深めることが出来ました。結果は次の通りです。次回も多数のご参加お待ちしております。

- 1位 吉富 巧
- 2位 原口 彰
- 3位 国武勝征

第4回大会(予定)

日 時：平成24年11月23日(祝)
 場 所：スポガ久留米
 連 絡：吉富 巧(事務局)
 TEL 0942-78-4752



水泳部OB会便り

KUS監督 後藤 正 (商6回卒)

平成23年3月、熊本で開催された「第9回 ひのくにマスタース水泳競技大会」に、我が久留米大学水泳部OB会「KUS」クラブのメンバーが出場しました。出場種目は男子280才以上の部で、自由形100mリレーと100mメドレーリレー。競技結果は初出場ながら「KUS」クラブが見事優勝しました。

メンバーは、野瀬善彦(商6卒)・立石正巳(商7卒)・柴田龍郎(医学)・蒲池徹志(歯科医進)の4名で、トータル年齢は298才でした。又、個人でも柴田君(75才)は、男子75才以上の部の25m自由形に出場。これも優勝し金メダルを獲得。

久留米大学水泳部OB会は「KUS」の名を掲げて大活躍しました。

又、平成23年5月、福岡で行われた「日本マスタース水泳短水路大会」では、野村光幸(商4卒)以下4名が出場し、次の成績を残しました。

個人競技《野瀬、柴田、立石が出場》【各々優勝】

25m 自由形リレー 【2位】

25m メドレーリレー 【4位】

※獲得メダル11個(金メダル4個/銀メダル7個)でした。

最後に平成23年7月、大阪で行われた「ジャパンマスタース2011」(マスタース水泳競技では最高の権威ある大会)は、柴田君と立石君の2名が出場。柴田君は75才以上の平泳ぎ50mと100mで優勝し金メダル2個を獲得。立石君は70才以上の50mと100m自由形に出場しましたが、惜しくも4位。メダルは逃したものの善戦しました。

以上、去年の主要出場記録をお知らせしましたが、久留米大学水泳部OB会「KUS」クラブは今後とも頑張つて参りますので宜しくお願いいたします。

※久留米大学水泳部OB会「KUS」クラブの紹介記事が日本マスタース発行のマスタースNews2011年July第105号に掲載されています。

※KUS=久留米大学水泳部(kurume university swimming club)の略称



私の近況

お願い

あなたの近況報告を
お待ちしております。

粉骨砕身

久留米支部 藤原雄介 (昭和47年卒)

昭和47年春、福岡市天神の岩田屋で社会人としての第一歩を踏み出し、昨年38年間の勤めを無事終え、定年を迎えましたが、畏くも尚、勤務させて頂いております。その中で様々な部署を経験し、たくさん仲間・お客様と出会えた事が私の中で大きな財産となっております。

現在の私は、非常に厳しい流通業界の中で何とか弊社が生き残れるべく、販売・サービスにかかる全ての経費の見直しや費用対効果を図りながら、お客様に喜んで頂ける百貨店ならではの付加価値の高い販売サービスの提供を目指して『粉骨砕身』日々の業務に取り組んでおります。現状を取り巻く環境は日々厳しくなり、うまく行かない事も多々ございますが、今日まで培った絆や経験を大切に、学舎を卒業したあの頃に抱いていた明るく、希望に満ちた気持ちで前向きに進んでいきたいと思っております。

今後は近隣の山々の登山を愉しみ、体力をつけ、地域活動にも積極的に参加して、皆様に少しでも恩返しができるかと考えております。



趣味を生かしてボランティア

東京支部 藤山敏子 (昭和41年卒)

子供達も独立し、義父母も見送り、やっと自分の時間がとれるようになり、この先限られた時間を、自分の為に今までやりたくとも出来なかった事に使おうと思立ち色々な事を始めました。

その中で、特にハマッているのが60才を前にして始めたフラダンスとハンドベルと源氏物語の受講です。健康保持とボケ防止、それには、まず自分自身が楽しくなくてはという気持ちでやっています。“継続は力なり”今ではフラダンスとハンドベルでもって、老人ホームやケアセンターならびに子供会等といった所で、月数回ボランティアとして訪問しています。

いつも楽しみにして待っていて下さり、その方々とお話しする中で、先人の知恵や生き様を学び、又、子供達からも意外と教わる事も多々あります。元気を与えているつもりが逆に私の方が元気・喜びを頂いている次第です。

これからも自分の為・人の為、私の出来る範囲でボランティアを続けて行きたいと思っています。



前列右



右から3人目

全国支部長会開催される



12月3日ハイネスホテル久留米において、恒例の全国支部長会が開催されました。10月に結成された関西支部も加わり計20名の支部長が参加して活発な討議がなされました。

冒頭、大木新会長より「支部活動の活性化は今後の商経同窓会の興隆に繋がります。そのためには誰でも参加しやすい親睦第一の楽しい同窓会にしていきたいと思います。」との挨拶がありました。

8月に実施された各支部長に宛てたアンケートの結果発表があり、支部からのさまざまな要望や意見が出されました。例えば同県内の支部の分割又は除外など支部の範囲や会員の移動・それに係る代議員の件、支部活動費の増額等々が披露されました。

その他、時代に即した規則の改正、会員名簿の取り扱い、年会費未納者の問題や支部会への会員動員の苦労や戸別訪問もやむなしかとの意見が交わされました。

また、会員の同窓会への意識を高める意味で商経を外して久留米大同窓会としてはどうかと、御井キャンパス4学部を併せた御井学舎同窓会としては如何なものか等々、壮大な意見が飛び出しました。

今後の検討課題として考えさせられる有意義な支部会議でした。

会費納入のお願い

終身会費 15,000円 (1回限り)

年会費 3,000円 (年1回)

※どちらかお選びの上、郵便局からお支払下さい。

卒業生も約27,000名の陣容となり会報にもかなりの費用を要します。このところを十分にご理解いただき、会費を納入くださいますようお願いいたします。なお、お振込みの際は同封の払込用紙(一般会員の方のみ同封)をご利用下さい。住所、氏名、電話番号のみでは確認できない場合がありますので、おわかりの範囲で卒業(年、学部学科)、学籍番号、会員番号、所属支部を、またお差し支えなければ勤務先をご記入下さい。

編集後記

○去年、公務員天国のギリシャで大規模デモが勃発した。官僚天国の日本では犬の遠吠え程度か。
○ウォール街のデモの本質は1%の、1%による、1%のための政策に対する99%の抗議行動から始まった。そこでアメリカは苦肉の策としてTPPの早期締結を日本に迫っている。平成の開国、黒船ドクトリンだ。先に締結された米韓のFTAではすでに韓国内で混乱を招いているようだ。(上床)

＝平成24年度一般入試日程＝

- 文学部 心理学科・情報社会学科・国際文化学科
社会福祉学科
└子ども家庭福祉コース └英語コミュニケーション専攻
└医療福祉コース └国際文化専攻
- 法学部 法律学科・国際政治学科
- 経済学部 経済学科・文化経済学科
- 商学部 商学科
- 医学部 医学科・看護学科



願書受付期間(必着)	試験日	募集学部・学科	試験地	合格発表
1月4日(水) ▼ 1月16日(月)	2月2日(休) 2月3日(金) 2月4日(土) 2月6日(月)	学部試験 法学部 経済学部 文学部 商学部	本学(御井) 北九州 長崎 鹿児島	2月20日(月)
1月4日(水) ▼ 1月16日(月)	2月10日(金)	系部統一試験 文学部 法学部 経済学部 商学部	本学(御井)・東京 山形 北九州 熊本 鹿児島	2月20日(月)
12月19日(月) ▼ 1月17日(火)	2月1日(水) 2月13日(月)	医学部 (医学科)	本学(御井)・東京	2月7日(火) 2月20日(月)
1月4日(水) ▼ 1月18日(木)	2月5日(日)	医学部 (看護学科)	本学(御井) 広島・熊本 鹿児島	2月20日(月)

※経済学部は「学部」として募集し、2年次進級の際に学科の振り分けを行う。
※学部試験と文系学部統一試験は併願可
※医学部医学科は福岡県特別枠入試を含む

●募集要項(願書)送料込1,000円(郵便小為替)
〒839-8502 久留米市御井町1635
久留米大学入試課
☎0942(44)2160(直通)
<http://www.mii.kurume-u.ac.jp/nyuushi/nyusi/>

住所連絡のお願い

住所等お変わりの方はお忘れなく同窓会本部までお知らせください。ホームページのご利用が便利で簡単です。電話、ファックスもご利用ください。

TEL 0942-44-2432 FAX 0942-44-3846
ホームページアドレス <http://www2.ktarn.or.jp/~syoukei/>
メールアドレス syoukei@ktarn.or.jp

発行所 〒839-8502 久留米市御井町1635
久留米大学商経同窓会
責任者 同窓会会長 大木 武彦
編集人 広報委員長 上床 一幸
TEL 0942-44-2432
FAX 0942-44-3846
URL <http://www2.ktarn.or.jp/~syoukei/>
E-mail syoukei@ktarn.or.jp
印刷所 中央印刷株式会社